

中国 激動の乱世

魏晋南北朝時代

- 中華の分裂と再生 -

定員・回数：60人・3回

時間・場所：午後2:00～3:30・研修室

費用：受講料600円

講師：愛知学院大学 文学部 教授 松下憲一

後漢が衰退した3世紀から隋が統一する6世紀に挟まれた魏晋南北朝時代。『三国志』で有名な魏・呉・蜀から始まり、群雄が割拠した中国分裂の時代であると同時に、新たな中華が創造された時代でもあります。それまでの中華世界になかった仏教が定着し、椅子、麺、琵琶が流行しました。それらは、おもに北方の遊牧民によって持ち込まれたものです。講座では、複雑な魏晋南北朝時代の流れを整理すると同時に、この時代に生まれた新たな文化について見ていきます。

10/14(土)	魏・呉・蜀 三国の分裂と西晋の統一 三人の皇帝が並び立った魏・呉・蜀の三国時代とそれを統一した西晋の時代。中国国内での争いと外部勢力との関係を紐解いていきます。また、邪馬台国はどこにあったのか、『三国志』から迫ります。
10/28(土)	東晋南朝と『職貢図』 華北を遊牧民に奪われた漢民族は長江の南に移住し、国家を築きます。この時代の漢民族は長江の南を中華世界と考えました。それを示すものが梁の『職貢図』です。そこには倭人の姿も描かれています。
11/18(土)	五胡十六国・北朝 遊牧民が華北を支配した時代が五胡十六国・北朝です。この時代には仏教が国家宗教として保護され皇帝から庶民に至るまで流行します。敦煌・雲崗・龍門の中国三大石窟もこの時代に開かれました。